四日市市立
港中学校だより

青葉匂う

令和７年12月 23日
No.9　発行:校長

終業式を終え、今日で２学期は最終日です。２学期の初め、９月は今年も暑い日が続き、熱中症対策をしながら体育祭の練習を行っていたことを思い出します。体育祭の後も、中体連の新人大会や様々な演奏会、そして文化祭と毎月大きな行事が続いた２学期でした。

その中で私が心に残ったのは１１月２８日に行われた「学び舎音楽会」です。「愛知室内オーケストラ」の皆さんに来ていただき、クラッシックや童謡メドレーなどを演奏していただいたり、「Beleive」と「校歌」の２曲をみんなで歌ったりするという貴重な体験をさせていただきました。また、オーケストラの楽器を一つ一つ紹介していただき、その音色を聞かせていただきました。その時ふと思ったことがあります。それは、それぞれの楽器は一つ一つ違う音色、特徴を持ち、ソロ（単独）で聞いてももちろん素晴らしいのですが、それらの楽器が音程やリズムを合わせ、一つの楽曲を奏でることで、さらに素晴らしい、感動的な演奏が生まれるのだということです。

そして、こうも思いました。「これは『人』にも当てはまるのではないか」。港中学校の皆さんは一人一人が違う個性を持ち、かけがえのない素晴らしい存在です。その一人一人が集まり、クラスや学年、チームといった集団で何か一つの事、例えば様々な行事、また日々の活動や学習に息を合わせて、気持ちを合わせて取り組むとき、素晴らしい経験や感動的な体験が生まれるのではないでしょうか。

さて、学期末にこの２学期を振り返って、皆さんは何を思い、何を感じましたか。皆さんにそれぞれの経験や成長があったはずです。これらを自分自身の糧にして、来年も心身ともにさらに成長してほしいと願っています。明日からの冬休みの間、健康に気をつけて過ごし、３学期にはまた元気な姿を見せてください。

保護者の皆様におかれましては、、先日の三者懇談会にお越しいただきありがとうございました。また、学校アンケートへにご協力いただき、誠にありがとうございます。

では、生徒の皆さんも保護者の皆様も、よいお年をお迎えください。

「人権講演会」を開催しました

「１２月１日（月）、午後の授業に浜田小学校の６年生の皆さんを招き、「人権講演会」を開催しました。講演会の講師は「反差別・人権研究所　みえ」より「荻田さん」をお招きしました。また、今年の講演会は「PTA 家庭教育講座」も兼ねており、中学校の保護者の方にも参加していただきました。

荻田さんからは『考えよう　私たちにできること～自分もみんなも大切にするために～』という演題で、「自分のことも大切に　みんなのことも大切に」「相談できる自分に」「相談してもらえる自分に」と呼び掛けていただきました。最後は浜田小の児童代表と港中の生徒代表から荻田さんに感想とお礼の言葉を伝えて、会場全体が温かい雰囲気で終わることができました。